



子宮頸がんワクチン



学校医の芦矢由美子先生から、本校の生徒（女子）へ周知してくださいとの依頼がありました。パンフレットを配付します。保護者と相談してください。

芦矢先生からのメッセージ

〈 キャッチアップ対象者 ※〉

- ①夏休み中に1回目の接種が必要。年内に3回接種のスケジュールを。
- ②接種しない決断をした場合は、20歳からの子宮頸がん検診だけでなく、異変を感じたら、最優先で子宮頸がん検診を受けること。

詳しい情報は・・・<https://www.shikyukeigan-yobo.jp>

※子宮頸がんキャッチアップ接種とは

子宮頸がんワクチン（以下 HPV ワクチン）の予防接種は、小学校6年生から高校1年生に相当する年齢の方が勧奨対象ですが、平成25年6月から令和3年11月まで積極的な勧奨を控えていました。

このことにより接種機会を逃した方に公平な接種機会を確保する観点から、改めて接種機会を提供するものがキャッチアップ接種です。

キャッチアップ接種は、接種期限が令和7年3月31日までと定められています。全接種回数を終えるには、最短でも半年以上かかります。ワクチンの有効性、リスクについて理解いただき、接種を希望する場合は、早めに検討してください。

対象：平成9年4月2日～平成20年4月1日生まれ的女性で、HPV ワクチンを未接種、または、接種回数が3回未満の方（全接種を完了していない方）

無料で接種が受けられる期間：令和4年4月1日～令和7年3月31日

ご用心！夏の開放感

思わぬ落とし穴が?!

勉強に、部活動にと、何かと忙しい夏休み。でも、みなさんが何より楽しみにしているのは、やはり自由な「遊び」の時間かもしれませんね。その中では、旅行なども含めて普段の生活とは違った場所に行ったり、クラスや部活以外の友人・知人と交流をもったりする機会も増えることと思います。

でも、夏休みの開放感も手伝って、そうした出会いが思わぬ落とし穴、危険やトラブルにつながることも。保健室でみなさんから受ける打ち明け話や相談、とりわけ人間関係や性の悩みなどに関する内容は例年、夏休み明けにもみられます。また、長期の休みはたばこやアルコール、違法なものはもちろん、そうでなくとも体に害を及ぼすさまざまな薬物などとの距離が縮まることも心配されます。開放的な気分流され、のちのち困るような事態にならないよう、適度な「自制」を心がけてほしいと思います。



健康・安全に
気をつけて
充実した
夏休みを!

